

## ②福音再考シリーズ - ヨハネの福音書

### イントロダクション | 「安息日論争」

今日の聖書はイエスをめぐる論争です。これを通して目がいやされた人は信仰において成長しています。試練は避けたいものですが、試練を通して信仰や人格が成熟するのも真実なことです。第1に信仰の試練や忍耐は避けることができます。しかし、第2に私たちが会おう試練は、人格的にも信仰の面でも私たちを成長させ、祝福を経験することになります。そして、第3に私たちがそのようプロセスを通して徐々に成長していくのです。

### 聖書 | ヨハネ福音書 9章 13-38 節

9:13 彼らは、前に盲目であったその人を、パリサイ人たちのところに連れて行った。14 ところで、イエスが泥を作って彼の目をあけられたのは、安息日であった。15 こういうわけでもう一度、パリサイ人も彼に、どのようにして見えるようになったかを尋ねた。彼は言った。「あの方が私の目に泥を塗ってくださって、私が洗いました。私はいま見えるのです。」16 すると、パリサイ人の中のある人々が、「その人は神から出たのではない。安息日を守らないからだ」と言った。しかし、ほかの者は言った。「罪人である者に、どうしてこのようなしるしを行うことができますか。」そして、彼らの間に、分裂が起こった。17 そこで彼らはもう一度、盲人に言った。「あの方が目をあけてくれたことで、あの人を何だと思っているのか。」彼は言った。「あの方は預言者です。」18 しかしユダヤ人たちは、目が見えるようになったこの人について、彼が盲目であったが見えるようになったということに信ぜず、ついにその両親を呼び出して、19 尋ねて言った。「この人はあなたがたの息子で、生まれつき盲目だったとあなたがたが言っている人ですか。それでは、どうしていま見えるのですか。」20 そこで両親は答えた。「私たちは、これが私たちの息子で、生まれつき盲目だったことを知っています。21 しかし、どのようにしていま見えるのかは知りません。また、だれがあれの目をあけたのか知りません。あれに聞いてください。あれはもうおとなです。自分のことは自分で話すでしょう。」22 彼の両親がこう言ったのは、ユダヤ人たちの恐れからであった。すでにユダヤ人たちは、イエスをキリストであると告白する者があれば、その者を会堂から追放すると決めていたからである。23 そのため彼らの両親は、「あれはもうおとなです。あれに聞いてください」と言ったのである。24 そこで彼らは、盲目であった人をもう一度呼び出して言った。「神に栄光を帰しなさい。私たちはあの方が罪人であることを知っているのだ。」25 彼は答えた。「あの方が罪人かどうか、私は知りません。ただ一つのことだけ知っています。私は盲目であったのに、今は見えるということです。」26 そこで彼らは言った。「あの方はおまえに何をしたのか。どのようにしてその目をあけたのか。」27 彼は答えた。「もうお話ししたのですが、あなたがたは聞いてくれませんでした。なぜもう一度聞こうとするのです。あなたがたも、あの方の弟子になりたいのですか。」28 彼らは彼をののしって言った。「おまえもあの方の弟子だ。しかし私たちはモーセの弟子だ。29 私たちは、神がモーセにお話しになったことは知っている。しかし、あの方については、どこから来たのか知らないのだ。」30 彼は答えて言った。「これは、驚きました。あなたがたは、あの方がどこから来たのか、ご存じないと言う。しかし、あの方は私の目をおあけになったのです。31 神は、罪人の言うことはお聞きになりません。しかし、だれでも神を敬い、そのみこころを行うなら、神はその人の言うことを聞いてくださると、私たちは知っています。32 盲目に生まれついた者の目をあけた者があるなどとは、昔から聞いたこともありません。33 もしあの方が神から出られるのでなかったら、何もできないはずですよ。」34 彼らは答えて言った。「おまえは全く罪の中に生まれていながら、私たちを教えるのか。」そして、彼を外に追い出した。35 イエスは、彼らが彼を追放したことを聞き、彼を見つけ出して言われた。「あなたは人の子を信じますか。」36 その人は答えた。「主よ。その方はどなたでしょうか。私がお方を信じることができますように。」37 イエスは彼に言われた。「あなたはその方を見たのです。あなたと話しているのがそれです。」38 彼は言った。「主よ。私は信じます。」そして彼はイエスを拝した。

### 考えましょう |

- 1: (15-17 節) イエスによって目がいやされた人は、どのような試練にあいましたか？あなたも同じようなことを経験したことがありますか？
- 2: (18-23 節) この人の両親もユダヤ人の尋問を受けていますが、どのように対応していますか？両親の対応の仕方は、私たちのどんな性質や傾向を示していると思いますか？
- 3: 安息日をめぐるイエスに関する取調べにおいて、目がいやされた人はどんな態度を示していますか？私たちも試練にあうことがありますが、そのとき正しく対応する秘訣は何だと思えますか？彼の対応の仕方から考えましょう。(参考ヘブル 4:15-16)

4: 目がいやされた人は、自分の経験を正直に話しています。私たちがそうできるように、どのようにイエスに出会い、信じるようになり、心と人生が変えられ、今どのように歩んでいるのかを短く 10~15 分で話せるように信仰のライフストーリー（証し）として書き留めておきましょう。

5: (12、17、35-38 節) 目がいやされた人は、安息日論争を通してイエスに対する信仰の成熟を経験しています。どのようなプロセスを通っていますか？（参考 ローマ 5:3-5）

6: この人が、安息日論争の試練の中でもイエスに対する信仰において成長したのはなぜだと思いますか？ 私たちも試練に対してどのように取り組んだらよいのでしょうか？

## 読みましょう |

---

ヘブル書 4 章 15-16 節

4:15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。16 ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

ローマ書 5 章 3-5 節

5:3 そればかりではなく、患難さえも喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

## 祈りましょう |

---

- ・ 試練の中でさえイエスは私たちに恵みを与えて、信仰と人格において成長する機会としてくださいます。イエスのもとに行って、あなたの試練について祈り助けを求めましょう。ピリピ書 4 章 6-7 節  
4:6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。7 そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。
- ・ 自分の弱さ、不安や怖れがあれば、なぜそのようにされているのか思いめぐらし、イエスの福音を思い起こしましょう。十字架にかかっているおちまで与えてくださった方の恵みと愛の力により頼めるように祈りましょう。

## 今週～来週のイベント

---

ランチタイムミーティング (7/1 霞ヶ関、2 大手町)、お弁当プロジェクト (4)、コミグル・リーダートレーニング (4)、コミグル・リーダー会 (6)、グレースシティゴスペル (6)、ランチタイムミーティング (8 丸の内、9 大手町)、浴衣パーティ (11@勝どき・ザ トウキョウタワーズ スカイラウンジ)、コミグル・リーダートレーニング (11)